山梨日日新聞「すけっこの流儀」取材記事　2012年3月掲載

きょうの紙面

- 中銀の若手行員が地場産業現場で〝修業〟 27
- 震災がれき受け入れ市民団体「慎重に」要請 26
- スカイツリー輝く 25

- 「武田兵糧丸」に新作13品加わる 5
- 山学大・鈴木聡美選手 無名から3年で急成長 16
- 小中高生オーケストラ 初のコンサート 23

くらし 15
年金減額 県民に不安の声

ときめき 14
堀北真希さん 体当たりで撓む

子どもウイークリー

- 〈ニュースのギモン〉ロンドン五輪日本代表 どうやって選ばれるの？ 29
- 〈知りたい!?好奇心〉 30
- 〈見学なう！〉 31
- 〈Let's えいGO！〉 32

Web Sannichi Evening きょうの電子夕刊

- あなたのギモンに答えます 山梨のひな祭りなぜ4月？

すけっこの流儀

第8部 あれから ②

不登校生の居場所〝教室〟に

「やりたい勉強をさせてあげましょう」。子どもたちが帰った後の夕暮れ時、「ひなたぼっこ」の古民家で西岡美紀恵（左）らスタッフ同士のミーティングが始まった＝北杜市長坂町長坂上条

支え合いネットワークを考える 51

「学びたい」歩み合わせて

6畳の和室で子どもたちが輪になって座り、真ん中に裏返ったトランプカードが並んでいる。北杜市長坂町長坂上条にある「不登校の子どもたちの居場所 ひなたぼっこ」で、午後3時のおやつの後に子どもたちが自然と始めるのが、トランプの「神経衰弱」だ。

2月のある日、いつものように「勉強しようかな」と話し掛けた。でも、学校へ行くのはまだ怖い。甲府市の書店で、算数のカードの組み合わせを見つけては、はしゃいでいた。歓声が途切れたとき、1人がふと口にした。

「漢字はやっておいた方が、将来的にはいいよね」

脈絡のない言葉に「うん」とうなずいたのは、市内の中学2年生の少女（14）。「算数も計算とかできたら、大人になって何かと助かるかもね」と、少女はのドリルを手に取った。毎日勉強机に向き合い、全問解いて、別のドリルをせがんだ。

「彼女の心に燃料がたまってきたのね」。元高校教諭で、ひなたぼっこの代表を務める西岡美紀恵（68）＝同市大泉町＝は、母親から話を聞いて喜んだ。小5で不登校になった少女に、その年の夏から寄り添った。「もう二度と、学びたい」という気持ちにならないことが、うれしかった。

少女は縫い物や染め物など、手先を使う作業が得意。中でも、紙粘土でつくったミニチュア菓子の「スイーツデコ」は、ひなたぼっこスタッフの人気の作品。スイーツデコをプレゼントされた西岡が「おいしそうなクレープね」と褒めると、少女は「せっかくだから」と西岡は昨年12月、子どもたちの展示会に小学校高学年と中学生の3人がカードの組み合わせを見つけては、はしゃいでいた。歓声が途切れたとき、1人がふと口にした。

「漢字はやっておいた方が、将来的にはいいよね」

脈絡のない言葉に「うん」と

帰りの車中、少女は母親（41）に「勉強しようかな」と話し掛けた。でも、学校へ行くのはまだ怖い。甲府市の書店で、算数の